

2015.9.1

京大病院医療安全情報72

【ヘパリン指示のセット化】

事例

術後、ヘパリン開始の指示が出た。

指示はヘパリン5000単位＋生食50mL（全量55mL）であったが、

誤って、ヘパリン5000単位＋生食45mL（全量50mL）として調製した。

【問題点】

- ヘパリンを持続投与の処方が医師によって異なる。また実情に沿わない処方も多い。

例) ヘパリン10mL + 生食50mL（全量60mL）

⇒液量が多くてシリンジに入らない

ヘパリン 5mL + 生食40mL（全量45mL）を2mL/hr

⇒液量が少なくて、次の更新時間までに無くなる。

- 今回の事例では、医師が生食50mLボトルを入力した際、自動で投与量が50mLと入力されるため、そのまま変更せずにオーダーした。
- シリンジポンプは50mL以上の液量のシリンジをセットできないため、看護師は生食は45mLと思い込んで調製した。

頻用薬であるヘパリンをセット化して間違いを減らします

京大病院医療安全情報72

便利なヘパリンセットを作成 しましたのでご利用ください

アプリケーションのメインメニューには「セット」ボタンが配置されています。このボタンをクリックすることで、セット作成のフローに入ります。

①セットを選択

「セット選択」ダイアログボックスには、通常セット、形成外、心臓外、呼吸外などの診療科がリストアップされています。ここでは呼吸外を選択しています。

②自分の診療科を選択

③必要な単位を選択

「セット選択」ダイアログボックスの下部には、選択されたセットの詳細が表示されています。

RP	手技	薬剤略称	用量/単位	Day 1
01	点滴	ヘパリンナトリウム注N 5千単位/5mL 大塚生薬注(50mL) 点滴: *点滴速度 2ml/h 投与経路 末梢ルートメイン1	5000単位 45mL	1回

5000、10000、12000、15000単位を全量が50mLになるように生食で希釈し、25時間（2mL/hr）で投与する処方簡単にオーダー出来ます。